

今週のモーニングセミナー報告

令和5年3月29日(水)の講話 <第934回>

テーマ:「7つの宝を授かった、私の人生」

講師:香川県倫理法人会 女性委員長 ジブラルタ生命保険(株) 高橋ひろ 様

(松浦清貴 会長) はじめての参加者「鏡原さん・高原さん。近江さん」の紹介に続きそれぞれによる自己紹介。松浦会長からは、今日の葉より「破約失福」の経験談。徳島の青木さんのコーチングセミナーで手帳の活用方法を学んだこと。デイリー・ウィークリー・マンスリー。に記載して予定を入れることを教わった。お陰で約束を守れるようになった、スケジュール管理の方法を話していただきました。

(高橋 ひろ 女性委員長) 倫理法人会に入会して7年目。現在県の女性委員長です。保険会社の観音寺営業所勤務。高知県仁淀川生まれ、四人兄弟の三番目。父は運送業をしていた。サンフラワー号に乗って父に付いて言った思い出がある。小学三年生の時、母と子供たちで古い家に移転、父とは疎遠になった。小六の時図書委員だった、フランスの哲学者ルソーの言葉「自由と平等」に出会い、生きる力になった。平成六年生まれ(現在28才)の長男を筆頭に7人の子供を産み育てる。平成3年に高知から香川に来る。夫と二十代前半で家を建て独立、次第に主人の態度が横柄に、従業員も一人もいなくなった。そんな中、7人の子供を育て、自分自身を無くしていた。パート勤めも、面接で何度も断られる。主人も子供にあたり、子供たちさえ守ることができなかった。小さい子供たちが私を守ってくれた。子供はバスケットで大活躍。子供たちの頑張っている姿で自分自身を取り戻す。家の貧しさを知っていた次男の高校進学時に中学のバスケの先生の前で特待生を辞退すると伝えた。僕の家では無理です。本人の中では限界を超えていた。お父さんはもう治らない。7人の子供を連れて家を出る。そこから一年365日休みなく夜も昼も仕事に出ていかななくてはならなく、子供たちには可哀そうでした。一番下に子を迎えに行き帰りの15分だけが話ができる時。寝不足から車で黒い犬を挽く。人でなくて良かった。長男のお手伝い。5人目の子供を下ろして来た時、「何しに行ってきたん〜」。同じ年に5人目の三女を出産。家のいるようにすると6番目の三男の夜尿が治り。親の生活の不自然さが子供に現れる。「諦めなければ道は開ける、貴女の未見の我を楽しみにしています」最後まで感動の講話でした。

担当者:赤山 芳隆

高知県仁淀川沿いの町で生まれ育ち、父は運送会社経営をしていたが事業がうまくいかず小学3年生の時に自宅兼会社を乗っ取られる。結婚して7人の子供を授かる。主人の独立とともに香川県に出てきた。事業がうまくいくと横柄になる主人、そうなるに従業員はやめていき、収入が少なくなりギャンブルにはまり、子どもにあたっていく夫。7人の子供を連れて離婚して手に入れた自由だったが、7人の子供を育てるために365日働いた。子供のトラブルもあつたりした、次男の彼女も家庭の事情で一緒に住んでいた時期があり、一時期8人の子供を育てていたと大変だっただろうけど楽しそうに話す高橋さん。モーニングセミナーに参加して緊張した空気の中、りっぱな経営者が朝早くから学んでいる姿にびっくりした。月1万円の会費を米買ったり、子育てに当てた方が良いのではと思ったりもしたが県の女性委員長として活躍をされている高橋さん。子育ては日曜日だからといって休みもないし、有給休暇もないし、風をひいたからと言って子育てが休むわけではないと私は思っていて、子育ては本当に大変だと思います。その子育てを7人育てるのだから大変さが伝わってきます。私も3人子供がいますが7人の子育ては本当に大変だっただろうと思いました。子供の成長、巣立っていく姿が本当にうれしいと話す姿が印象に残りました。ありがとうございました。

会長:松浦 清貴

連絡事項

※次回のモーニングセミナーは4月5日(水)朝6:00~7:00南新町自治会館にて経営者モーニングセミナーをします。「新たな時代を担う人を育む〜三高みんなの食堂 プロジェクト〜」と題しまして香川県立三本松高等学校 元校長 泉谷俊郎 様のご講話を予定しております。次回も是非ご参加ください。

出席社数 16社 16名

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp